

各 位

会社名 センコン物流株式会社
 代表者名 代表取締役社長 久保田 賢二
 (JASDAQ・コード9051)
 問合せ先 常務取締役
 管理本部長 柴崎 敏明
 電話022-382-6127

平成31年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び特別損失の計上（個別）並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月15日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）の連結業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成31年3月期第2四半期累計期間の個別決算において、特別損失の計上及び平成31年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,300	100	70	20	4 22
実績値 (B)	7,996	75	55	△ 72	△ 15 30
増減額 (B-A)	696	△ 25	△ 15	△ 92	
増減率 (%)	9.5	△ 25.0	△ 21.4	—	
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	7,253	165	182	66	14 05

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の営業収益につきましては、運送事業において海上コンテナ貨物の取扱い及び化学製品等の輸送量が増加したことに加え、乗用車販売事業において新車・中古車の販売台数が想定を上回ったことなどにより、前回予想を上回る結果となりました。

営業利益、経常利益につきましては、アグリ事業及び採石事業において販売用の在庫商品と製品の一部廃棄・簿価切下げ及び固定費等の負担に見合った収益が想定を下回った影響などにより、前回予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述の理由に加え、関連会社に対する事業資金等の貸付債権の一部について、貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、前回予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の内容（個別決算）

アグリ事業及び採石事業を展開している当社の連結子会社(4社)に対する事業資金等の貸付債権

について、直近の財政状態及び経営成績等を基に総合的に見積りを行った結果、「金融商品に関する会計基準」に基づき、貸倒引当金繰入額として159百万円を計上しました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は連結決算で相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 平成31年3月期通期連結業績予想と実績との差異（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,000	百万円 230	百万円 180	百万円 70	円 銭 14 78
今回修正予想 (B)	16,200	210	160	△ 150	△ 31 67
増減額 (B-A)	200	△ 20	△ 20	△ 220	
増減率 (%)	1.3	△ 8.7	△ 11.1	—	
(ご参考) 前年実績 (平成30年3月期)	15,872	249	284	△ 95	△ 20 07

5. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、現在、連結子会社等の事業の再構築を進めておりますが、第2四半期累計期間の業績及び第3四半期以降の当社グループの業界動向並びに事業環境等を踏まえ、上記のとおり通期の連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上